

小学部

17名の1年生と1名の転入生を迎えてスタートした小学部は、毎日97名の子ども達のキラキラ輝いた笑顔に包まれています。

今年度も小学部では、健康な身体を作り、日常生活習慣を身につけ、いろいろなことに興味をもってチャレンジ出来るように友達や先生と一緒に楽しく意欲的に「よりよく生きる力をはぐくむ」ことを目標に取り組んでいます。日々の学習を基盤にプレイフェスタや5年生の宿泊学習等、行事においても子ども達同士のつながりの中で学び合い、育ち合う姿をたくさん見せてくれました。

ますますたくましく育っていく姿を保護者の皆様と見守っていきたいと思います。

中学部

中学部は、59名の生徒と共に元気にスタートしました。

とても暑かった1学期が終わり、地震や大雨でいくつかの行事が中止となりましたが、それ以外は工夫のある、意欲的な取組が多く見られました。教室に源氏物語の1シーンを再現し、その世界観を感じながらの授業や、中学部にはあまりなかった「サービス」の視点をもたせた作業学習に取り組んだ学年もありました。2学期もどんな展開があるかとても楽しみです。

高等部

1学期も終わりに近いある日、木工室に行って扉を開けると、たくさんの笑顔が目に入ってきました。ちょうど、くらし健康コースの作業学習「窯業」の時間で、まとめがこれから始まるころでした。その日、生徒たちはいつも以上にがんばってたくさんの窯業製品を作ったようで、時間中がんばった満足感が顔から溢れていました。その後のまとめでも、生徒たちはさらに輝く笑顔を見せていました。この時間に作った製品は、くらし職業コース、くらし地域コースの製品と合わせて9月のふれあい・心のステーションや、アルプラザ城陽店での販売学習で販売されます。高等部全生徒117名が心をこめて作った製品が、手にした人達の喜びにつながり、それが生徒達のさらなる意欲になってくれることを願っています。

京都府スーパーサポートセンター (SSC)

京都府スーパーサポートセンター (SSC) では、京都府における特別支援教育の拠点として、各特別支援学校にある地域支援センター等と連携し、各分野の専門家で構成する専門家チームとSSCスタッフが、京都府全域の障害のある幼児児童生徒に関する相談及び研修支援を行っています。また、特別支援教育に関する研究や情報発信に積極的に取り組み、あわせて、京都府南部地域における視覚障害、聴覚障害の幼児児童生徒への支援に取り組んでいます。開設8年目を迎える今年度は、特に各地域の関係諸機関との連携をさらに深めながら、各学校のニーズや新たなニーズに応じた取組を進めています。

地域支援センターうじ

地域センターうじでは、宇治市・城陽市及び支援対象高等学校を支援エリアとして、保育園や幼稚園等の就学前から、小中高等学校の切れ目ない支援を目指して、巡回教育相談や研修支援を進めています。各地域の関係諸機関の方々と連携しながら、幼児児童生徒の日常的な学習や生活に届く支援を目指して取り組んでいます。